

## TUAD IS HERE

WEB

日常の中の芸工大

山形まなび館・MONO SCHOOL

地域に根付く“ものづくり”の新たな萌芽  
見慣れた街並の中に少しずつ変化していき  
く風景があります。2010年4月28日、山形  
市の中心街にあり長く学び舎として親しま  
れてきた、山形市立第一小学校の旧校舎  
が「山形まなび館・MONO SCHOOL」と  
して生まれ変わりました。山形まなび館は、  
ものづくり支援を主軸に中心市街地の活  
性化を図ることを目的とした事業で、企画  
運営は芸工大OBである萩原尚希さん(学  
真中央)が代表取締役を務める株式会社  
コロソ。[地球との関わりの中でデザイン  
のあり方を示していただけたら]と萩原さんは  
大きな展望を見せています。

萩原尚希 Hagiiwara Naoki  
2001年、大学院デザイン工学専攻ビジュアルコミ  
ュニケーションデザイン専攻修了。同年5月コロ  
ン・グラフィック設立を経て、2010年株式会社コロ  
ソを設立。山形まなび館・MONO SCHOOLの  
企画運営委員事務長就任を受け現在に至る。



## 表紙のART

WEB



「楽々楽々〜水と光と風と〜」  
藤づると自然が創る、表現世界。

自然が生み出す躍動感あるフォルムを活かし、ひと  
つに結束することで生命エネルギーとしての存在感  
を示す。藤づるのオブジェが芸工大正面の人工池に  
姿を表しました。制作者は大学院2年彫刻コースの  
丹野智子さん。丹野さんは多くのお弟子さんがいる  
華道草月流の師範でもあり、数々のダイナミックな  
作品を発表しています。今回の作品名は、「楽々楽々  
〜水と光と風と〜」。空と稜線と芸工大の校舎を映  
す水面は風に揺れ、白くくっきりと浮かび上がった  
藤づるの輪郭は、浮遊感を持って見る人のイマジ  
ネーションを描き立っています。

## 「g\*g」とは?

芸工大広報誌のタイトルは「g\*g」。最初の「g」は  
芸工大のgであり、もう一つの「g」は芸術市民のg。  
文化的志向を持つ皆さんを「芸術市民」と名付けま  
した。あの絵が好き! このデザインがこい! 景観  
がきれい! こんな風に日常の中で感動できる人は立  
派な芸術市民。そんな芸術市民のみならず芸工大  
が、「+」より強い「\*」で結ばれることで、新しい何か  
を創り上げていきたい、そんな思いを込めて「g\*g」、  
親しみを込めて「ジー・ジー」と呼んでください。  
広報室では、「g\*g」を置いてくれるショップやギャラ  
リーなどを随時募集中です。

## 東北芸術工科大学

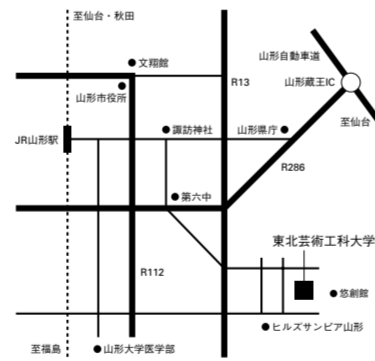
◎芸術学部  
美術史・文化財保存修復学科  
歴史遺産学科  
美術科[総合美術/日本画/洋画/版画/彫刻/  
工芸(漆芸・陶芸・金工)/テキスタイル]

◎デザイン工学部  
企画構想学科  
プロダクトデザイン学科  
建築・環境デザイン学科  
グラフィックデザイン学科  
映像学科  
メディア・コンテンツデザイン学科

◎大学院芸術工学研究科  
博士後期課程 芸術工学専攻  
修士課程 [芸術文化専攻/デザイン工学専攻/  
デザイン工学専攻 仙台スクール]

◎研究機関  
総合研究センター/東北文化研究センター/文化  
財保存修復研究センター/こども芸術教育研究セ  
ンター/デザイン哲学研究所/東アジア芸術文化  
研究所/社会芸術総合研究所

## ACCESS



## 東北芸術工科大学広報誌 g\*g

2010年7月15日発行  
発行:学校法人東北芸術工科大学  
〒990-9530 山形市上校田3-4-5  
東北芸術工科大学広報室  
TEL:023-627-2246 FAX:023-627-2185  
WEB:www.tuad.ac.jp  
E-mail:hello-gg@aga.tuad.ac.jp

Design:JEYONE  
Printing:Tamiya Printing co.,Ltd.

©東北芸術工科大学 Printed in Japan 2010





# +art

人生に、アートを。

HEADLINE

## 山形で、神宮外苑で、動き出す 大人のための芸工大。すべては 人々の豊かな Life のために。

芸工大の生涯学習プログラムでは、皆さんの日常の暮らし「Life」を中心に「+ ART」「+ DESIGN」「+ SLOW」の3つテーマで学びの場をご提供します。芸工大で教鞭をとるデザイナーやアーティスト、作家、研究者といった豊かな教授陣が、技術や方法だけでなく、その前後にある幅広い知識も含めて、皆さんの暮らしやお仕事を、もっと豊かで実りのあるものにするための、お手伝いをいたします。



## + 芸術文化の第一線で活躍する人々が一堂に、 「外苑キャンパス」オープニングイベント。

7月4日、外苑キャンパスのオープニングイベント「セタアート祭」が開催され、東北芸術工科大学と京都造形芸術大学、両学長のあいさつに続き、4名の教授陣(千住博氏、小山薫堂氏、辻仁成氏、宮島達男氏)がスペシャルトークを展開しました。外苑キャンパスでどんなプロジェクトを企画し、どんなメッセージを発信していくのか、それぞれの思いや意気込みを多彩な話題やユーモアあふれるトークでアピール。参加者の高揚感も最高潮に達し、今後への期待を膨らませるに十分な内容となりました。最後に、千住氏が外苑キャンパスのキーワードとして“足もとの宝さが

し”を掲げ、バーチャルではない実感を持った、身近な幸せさがしへの参加を呼びかけました。午後からは、10月に開校する新型アートカレッジ「東京芸術学舎」の体験型ワークショップ&レクチャーを開催。本学の宮島達男副学長は、くじ引きでベアになった知らない者同士が、お互いの体に数字をボディペイントし、それを作品として写真に収めて短冊にするワークショップを、根岸吉太郎映像学科長はブルーバックを使った合成映像でスター気分を体験する「天の川を映像で渡る」を実施。参加者は皆、ここでしか味わえないアートなセタを満喫していました。



1. 明治神宮外苑の豊かな緑に抱かれるように静かに佇む「外苑キャンパス」。

## + 大人の芸工大へようこそ、担当3教授からのメッセージ。



ART

興味のある身近なアートの扉から  
気軽に入り、学びを深めてほしい。

山田修市(芸術学部長)

芸術は特別なものではなく、ずっと人生に寄り添っていくもの。芸工大の生涯学習プログラムは、アートとの関わりが希薄になりがちな大人世代にもっと身近にアートを感じてもらいたいと開いた。境界線のない大きな扉です。芸術、アート……と難しく考えるのではなく、身近にあるものなど、まずは関心のあるものを入り口として、興味の向くままに学んでほしいと考えています。例えば、陶芸が好きで茶碗を作るうちにその歴史を知りたくなった、箸の文化に興味をわいた等々、次のステップは上だけではなく、横や斜めに進むステップもあるのです。アートの視点で見えてくる普段に潜んだ新しい価値観。自分を見つめるいい場になります。新しいコミュニティが生まれて人生の豊かさにつながるはずですよ。

山田修市 Yamada Shuichi

1948年、新潟県生まれ。東京藝術大学大学院修了。油絵、壁画が専門。大橋賞(1972年)、独立賞(1984・1985年)、ジャパン大賞(1989年)、人間賛歌奨励賞北里大学賞上(1989年)、昭和会賞(1991年)など受賞。文化庁派遣芸術家在外研修員として渡仏。(1990・1991年)環境造形の作品では、中京競馬場のスタンドグラス(36㎡/1994年)、福島競馬場のスタンドグラス(15㎡/1995年)を制作。



DESIGN

デザインの基本を楽しく習得し、  
生活をより快適に、自分らしく。

片上義則(デザイン工学部長)

インテリア、グラフィック、ファッションなど、デザインには様々な領域があります。それぞれに基本となる知識があり、それらを身につけることはセンスを身につけること。そして、より快適で自分らしい日常生活を手に入れることにもつながります。世の中にあふれている多大な選択肢の中から、自分の価値観で正しいものや美しいものを選び、時には自ら作ることもできるからです。全て専門家まかせでは、自分らしさの表現までは望みません。センス良く暮らしたい、子どもの感性や美的感覚を豊かにしたい、営業センスを高めたい、きれいなホームページを作りたいなど、デザインの基本を習得することでかなえられる思いは、想像以上に多岐にわたっています。

片上義則 Katagami Yoshinori

1951年、広島県生まれ。武蔵野美術大学造形学部工芸デザイン学科修了後、1975年(株)東芝に入社。2000年に東芝デザインセンター家電機器機グループ部長に就任。2001年から3年連続でグッドデザイン賞金賞受賞を達成。その後、同センター長(2003年〜)、同センターデザイン統括部長に就任。2007年〜などを経て2009年4月からデザイン工学部プロダクトデザイン学科の教授に就任。「動き、体験、気づきのある授業」を展開中。



SLOW

今後は避けて通れない環境問題、  
石油から木へ、新しい価値観を。

竹内昌義(建築・環境デザイン学科教授)

地球が危ないとか、日本はダメになったとか、暗い話題が多い昨今ですが、悲観ばかりしていても現状は変わりません。日本が既にダメになったのではなく、「今のままではダメ」ということであって、もっと前向きに現状を受け入れて、これからどうすべきかを考える時なのです。石油中心、経済中心の価値観からソフトし、環境から世界を見ていくと今までは違ったものの見方ができるようになります。自然の本当の大切さの意味や、積極的に今あるものをどう活かすかということの重要性にも気づかされるはずですよ。エコハウスや中心市街地の空きビル再利用など、これまでの芸工大の取り組みも踏まえて、街づくりから暮らしぶり、ビジネスにも役立つ講座を展開していきたいと思っています。

竹内昌義 Takeuchi Masayoshi

1962年、神奈川県生まれ。専門は、建築デザイン、家具デザイン、都市デザイン、空間の造形に関する一切のこと。91年に竹内昌義アトリエ設立。95年NHK長野放送会館の設計を機に友人3人と建築設計事務所「みかんぐみ」を共同主宰。2000年、東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科助教授に就任。05年の愛知万博ではトヨタグループ館、フランス・ドイツ共同館の設計を担当。現在、建築・環境デザイン学科長、教授。

## + 学び方いろいろ。目的や ライフスタイルに合わせて 選べる4つの授業スタイル。

皆さんの暮らしや興味の度合いに合わせて、生涯学習プログラムの学びの入口は4種類。少し敷居を高く感じている方には、気軽に参加できる公開講座を。短期的に濃い体験をご希望の方はアートキャンプを。3ヶ月間をかけてじっくり学びたいという方には、セルフビルドプログラムをお勧めします。



### アートキャンプ

東北の自然や伝統文化、街並みに触れるフィールドワーク。東北の民俗や歴史を巡る旅、自然に触れながら感性を高めるスケッチなどで地域の価値を再発見。



### 資格取得講座

芸術やデザインの力で人間の潜在能力を引き出す技術や、より環境に優しい豊かな生活を創りあげる方法など、現代社会が求める新たな資格が取得できます。



### 公開講座

美術やデザインなどの実技を中心に、幅広い分野から興味やレベルに合わせて受講。日本画・洋画、彫刻や工芸など、本格的な技法で作品を制作します。



### セルフビルドプログラム

芸工大生が受講している正規の授業科目を自由に組み合わせることで受講することができます。教養から専門まで、興味やレベルに合わせて選べるプログラムです。

「大人のオープンキャンパス」生涯学習プログラムのプレイベントとして、7月31日(土)・8月1日(日)13:30-15:30の2日間、大学キャンパスを会場に公開講演を開催します。皆様のご来場をお待ちしております。東北芸術工科大学生涯学習プログラムについての詳しい資料は、7月下旬からのご案内を予定しております。お問合せ:東北芸術工科大学 生涯学習プログラム担当 TEL:023-627-2091 E-mail:exte@aga.tuad.ac.jp HP:www.tuad.ac.jp/plusart/

HEADLINE

## 「東京企画構想学舎」始動。

2010年10月、外苑キャンパスに小山薫堂企画構想学科長を学長とする「東京企画構想学舎」が誕生します。企画力、構想力を身につけたい社会人・若手クリエイターのための実践講座です。小山学長を中心に、日本が誇るクリエイティブディレクター、伊藤直樹氏と高松聡氏がクリエイティブセンスとビジネスセンスをバランス良く備えた人材の育成にあたります。その両氏によるワークショップが行われ、若きクリエイターやクリエイターを目指す学生たちが多数受講しました。高松氏は、自らが手掛けたCMやプロジェクトを通して、「企画とは」を語り、伊藤氏は、キーワードに沿ってハイブリッドな企画構想術を披露。だれもが本講座の有効性や可能性を実感したのではないのでしょうか。



5. 自らの発想法などについて話す伊藤氏。6. iPadなどの話題で受講生を引き付ける高松氏。



2. 「芸術王国」の書の前でスペシャルオープニングトークを展開中。3. 好きな数字をボディペイントし合うワークショップでお手本を示す宮島副学長。4. ワークショップで合成映像について解説する根岸教授。



芸工大 \* オルタナハウス

# 未来型環境住宅が、ぐっと身近に。 「オルタナハウス蔵王」が完成。

シンプルで高性能、しっかりと生活になじむ木造の環境住宅「オルタナハウス蔵王」が、宮城県大河原町に完成しました。建築・環境デザイン学科の馬場准教授と学生が中心となり、芸工大はこのプロジェクトに幅広い技術協力をしています。

汎用型環境住宅のモデルハウスとして早くも多くの支持を集めているオルタナハウスは、緑豊かな宮城蔵王に建築され、6月20日に完成披露を行いました。写真は、設計に関わった馬場教授（左端）、地元建築事務所ナガクボハウスの永窪社長（右端）、本学教員の森みわさん（真中）、馬場ゼミの院生工藤さん（二階右端）。

二酸化排出量を軽減し、環境負荷を抑えた生活を可能にする未来型環境住宅として注目されているエコハウスが新たに一棟完成しました。「オルタナハウス蔵王」と名付けられたこのエコハウスは、先頃完成した「山形エコハウス」に結集した技術をベースに、よりすっきりとコンパクトな設計でコストを抑え、汎用性を高めたもの。建築費用は、山形エコハウスの1/4以下の約1,500万円。オルタナとは alternative の略語で、オルタナハウスというネーミングには「新しい価値観の家」という意味が込められています。太陽光発電や熱交換システムを搭載し、熱効率を表すC値は0.9cm/mに抑えられ、自然素材を使った温もりあるワンルームの居住空間になっています。芸工大がこのプロジェクトに参加したきっかけは、「未来の住宅 カーボンニュートラルハウスの教科書」の著者の一人である、建築・環境デザイン学科の馬場准教授が連載を持つ雑誌「オルタナ」の編集長からかけられた「エコハウスを建てたい」という1本の電話にありました。すぐに施工者であるナガクボハウスの代表との顔合わせが行われ、新たなエコハウスへ技術協力することが決まりました。構想は半年程で、基

本設計には、建築・環境デザイン学科の工藤さん他2、3名の学生が関わっています。「オルタナハウスは、コンパクトな面積を効率的に使っています。北側の水回りや室外機の置き場所、床下断熱で基礎が高くなっている点で苦労しましたが、ナガクボハウスの方と一緒に考え作っていくことができました。」と言う工藤さん。今後の課題は、オルタナハウスを見学した人が生活のイメージを掴みやすくなるための、画期的な家具システムの考案だそうです。馬場准教授は、学生が実物の建築プロセスに関わることの貴重さを述べ、研究と実践の中で学び、環境住宅のデザインを進化させていきたいという想いを語ってくれました。山形エコハウスのコンサルティングを手がけた建築家で本学教員の森みわさんは、オルタナハウスについて「ローコストの中で様々なアイデアを盛り込んだ、研ぎすまされた環境住宅」であると高く評価しています。環境住宅が普及して地域に根付き、地球環境に対して一定の成果を上げていくために、オルタナハウスに期待される役割は、今後ますます大きくなってきていそうです。

WEB

PICK UP



# フラワー長井線沿線をもっと楽しく元気に。 大学での実践的な学びが社会で花開く。

スイングガールズや公募社長で注目を集めた山形鉄道株式会社に就職し、営業部に配属された大塚さん。学生時代、自他共に認める“変わった子”だった教え子で長井駅を訪ねた平林先生は、社会人として積極的に仕事に取り組むその姿に思わず眼を細めた。

大塚このみ Otsuka Konomi  
2009年度メディア・コンテンツデザイン学科情報計画コース卒業。山形県米沢市出身。在学中は、企業や自治体等からの委託デザインに積極的に取り組み、この春、山形鉄道株式会社に入社。山鉄ブランドの商品化や営業に奮闘中。

平林千春 Hirabayashi Chiharu  
デザイン工学部および大学院仙台台スクール教授。長野県諏訪市出身。プランナー、メーカーとして数々の商品開発、都市開発などのプロジェクトに関わる。ヒット商品研究、ロングセラー研究、ブランドの商品化や営業に関する著書も多数。



大塚さんがデザインを手掛けた「あやめ100パスポート」や長井駅駅舎のペーパークラフト、長〜い切符。そのほか、8月8日運行の「よみきかせれっしゅふりーきっぷ」のデザイン・イラストも彼女が担当。野村社長の豊富なアイデアを次々にカタチにしている。



フラワー長井線の長井駅ホームにて談笑する、公募社長として話題となった「山形鉄道株式会社」の野村浩志社長（左）と平林千春教授（中央）、卒業生の大塚このみさん（右）。



平林教授は、地域のデザイン（地域づくり、地域振興など）として東北を中心に積極的に活動。スポーツを通じた地域振興も地域デザインの活動と捉えたモンテディオ山形との活動や、地場産業のブランディングにも関わり、実践的な教育・研究活動を展開しています。

入社から約2カ月、大塚さんはフラワー長井線を運営する山形鉄道株式会社の営業として自社グッズの商品化や販売、チラシのデザイン制作などを担当しています。メディア・コンテンツデザイン学科情報計画コースでマーケティングやデザインを勉強してきた大塚さんにとって鉄道会社への就職は想定外。しかし、高校時代に関心を覚えた観光の仕事、大学時代に希望していた営業職、その両方がかかったとも言えます。平林先生のもとで企業や自治体などからの委託デザインに取り組み、実践的に学んできたことが、さまざまなカタチで今の仕事に活かされています。「よく言えば個性豊か、

正直に言えば変わった子」と大塚さんを評する平林先生と、「平林先生は基本的に黙っていたら教えてくれない先生。でも、それが人を頼りすぎない訓練になってよかった」と、学生の個性に見合ったチャンスを与えては試行錯誤させる平林式指導に今では感謝している大塚さん。必ずしも優等生とは言えなかったものの、大塚さんの独特の感性や努力家としての一面を見抜いていた平林先生は、彼女のその後が気になっていました。人間関係の複雑な職場や型にはめようとする会社には馴染めないのではと感じていたからです。その点、山形鉄道株式会社ではアイデアマンの野村社長のもと、

のびのびと仕事をさせてもらっているようで、大塚さんの表情は明るく、「フラワー長井線を通して長井市全体に活気をもたらしたい」と意欲的。「いい場所に恵まれた」と平林先生もひと安心。将来的には、企業と大学という立場で2人がひとつのプロジェクトに取り組みることがあるかもしれません。「大学と学生の関係は、卒業してしまえば終わりではなく、その後が大切」という平林先生の持論通り、卒業生が学生たちに新たなチャンスをもたらすこともあれば、卒業後も先生のアドバイスに救われることもあります。こうして在學生と卒業生、大学と地域社会や企業は脈々と繋がっていくでしょう。

INTERVIEW

## 建築・環境デザイン学科

市街地の廃ビルの活用を提案をする「山形R不動産」、電気を消してロウソクを灯し、エネルギーの大切さを見つめ直す「キャンドルナイト」など、地域社会と一緒に実践的なプロジェクトを展開。さまざまな活動を通じて、環境から住宅デザインまでを横断的に学びます。



## 産学連携と受託研究

メディア・コンテンツデザイン学科のほか、プロダクトデザイン学科や企画構想学科など、東北芸術工科大学総合研究センターを介して企業や自治体と学科とを結びプロジェクトを多数実施。写真の果汁100%ジュース「山形代表」は、JA全農山形と山形食品（株）とグラフィックデザイン学科が取組んだものです。





# TUAD NEWS 30

※学年や所属は、発表・受賞時のものです。

目で見える芸工大「できごと」セレクション



## 01 動き出した「東京企画構想学舎」 大きな反響呼んだオープニングイベント

本学と、姉妹校の京都造形芸術大学に集う教授陣が、美術、デザイン、文化・伝統、ライフスタイルの4つの領域から、多彩な芸術プログラムを発信する新しいアートカレッジ「東京芸術学舎」が、2010年10月、明治神宮外苑に開校します。その学びの場となる「外苑キャンパス」が完成し、7月2日にオープニングセレモニーを行いました。日本文化芸術研究センター長に就任した、裏千家の家元である千宗室氏による開校宣言の後、書家の横山登蘭氏が「芸術立国」をダイナミックに書き上げ、完成を祝いました。その後、山形市長と京都市長、両学長、理事長による「テープ結び」を行い、山形と京都、東京の3地点に結ばれる強い連携を誓いました。また、1階ロビーには松本哲男学長の日本画「人類の森『那須』」(1999年、178.0×538.0cm)が設置され、その除幕式も行いました。関連記事が2-3ページにもございますので、併せてご覧ください。



## 03 音づくり、ものづくりを語り、感じた DE DE MOUSE トークショー&ライブ

映像学科では「ミュージシャンとのコラボレーション」をテーマに、ミュージックシーンの異端児、DE DE MOUSE (デデマウス) を講師に迎え、5月7日にトーク&ライブを開催。アートディレクションを手掛ける岩井天志映像学科准教授との対談で、音づくりやものづくりについて語りました。その様子はUSTREAMで配信されたほか、CSフジでその様子が放送されます。



## 04 テキスタイルから広がる個性の世界 展覧会「human7+@persona.jp 仮面」

美術科テキスタイルコースでは「ペルソナ(仮面)」をテーマに、「自己=身体=心=身」と向き合い出会った「自分」を作品として表現する展覧会を5月8日-14日に開催しました。毎年恒例のこの展覧会では、テキスタイルという手法から出発し、独自の感性と表現で作り上げたさまざまな個性の世界が創出しました。



## 05 東北芸術工科大学伝統館の新たな 幻想的な能と狂言に酔いしれた夜

今年恒例の「東北芸術工科大学伝統館 薪能」を5月17日に水上能楽堂「伝統館」で開催しました。恋慕の妾の心の深淵を描いた「源氏物語」による能の傑作「葵上」や、下克上の世界を描いた狂言「昆布売」を、能楽師の観世鎮之丞先生や山本東次郎先生が演じ、700名の観客が堪能しました。



## 08 大学院教育のフラッグタワー 「アトリ工棟」の完成で創作意欲に拍車

本学のフラッグタワーとして位置づける大学院教育環境の充実を図るため、展示・制作の2つの機能を備えた「アトリ工棟」が完成し、4月14日に竣工式を執り行いました。1~2階は日本画と洋画領域、こども芸術教育領域、実験芸術領域の制作のアトリエで、3階は生涯学習プログラムの共同作業スペースなどとして活用していきます。



## 02 偉大なる教授が身近に存在する喜び 根岸吉太郎教授が紫綬褒章を受章

映像科学科科長で映画監督の根岸吉太郎教授が、平成22年春の褒章で、芸術や学問で功績を残した人に贈られる紫綬褒章を受章しました(4月28日付け発表)。今回は、歌手の都はるみさんや漫画家の西岸良平さんなどを含む24名が受賞しました。また受章を記念して、紫綬褒章受賞を祝う会を6月23日に山形グランドホテルにて開催し、吉村美栄子山形県知事や市川昭男山形市長のほか、地元映画関係者など約180名の方にご出席いただきました。



## 09 森友嵐士さんが芸工大でライブ サプライズで人を楽しませる実習!?

1990年代に数々の曲がヒットした森友嵐士さん(元T-BOLAN)(44)のサプライズライブを、企画構想学科の課外授業の一環として4月15日に開催しました。小山薫堂教授の発案で、サプライズイベントとして森友氏が来ていることを隠して企画構想学科の学生が公演を企画。映像学科の学生も照明係や撮影クルーとして加わり、当日は約400名もの学生が集まりました。

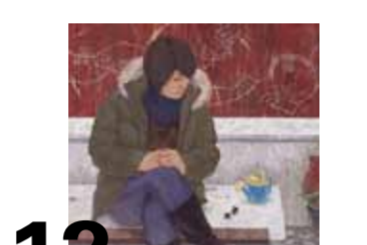


## 10 高まる関心、サスティナブルデザイン アイデアコンペ2009 最終審査を開催

「環境と共生しながら何世代にもわたって、自然を暮らしを継続できる社会」を実現するためのデザイン「サスティナブルデザインアイデアコンペ2009」の最終審査を4月24日に開催しました。2回目となる今回は、全国から152作品の応募があり、一次審査を通過した10提案の中から、最優秀賞、優秀賞等を決定しました。◎最優秀賞 武蔵野美術大学大学院の青木大輔さん「積みバタケ」◎優秀賞 京都造形芸術大学の鳴美瑠子さん「food sheet」東北芸術工科大学の小池匠さん、高橋勇太さん、千葉陽さん「路地環境調和計画」主催：デザイン哲学研究所

## 11 不思議な魅力を放つ新作の数々を披露 元木孝美 魅展「a long way off」

大学院修了生で現代美術作家の元木孝美さんがギャラリーSOL(銀座)で、時間的に、空間的に、遠方。かなた(a long way off)というテーマで、5月31日-6月5日に個展を開催しました。日常にある物を無機質化させることで、それ自体が持つ不思議な魅力や存在感を感じる新作作品を発表しました。



## 12 前田哲 / 映像学科准教授の監督作品は 世界にどんなメッセージを届けるのか

第65回春の院展が3月31日より東京展をはじめ全国を巡回しています。本学からは松本哲男学長をはじめとする日本画コースの教員、在学生、卒業生、修了生が多数出品しています。教員：松本哲男学長「シナイ山」/ 番場三雄美術科准教授「キンナールの谿」/ 谷善徳美術科准教授「雨上がり」卒業・修了生：山田美知男「人と生きる」(初入選) / 中井香奈子「あの日の街角」/ 須田健文「冬の朝」/ 鬼塚聖太「霧」/ 高橋誠「蒼穹」/ 高橋一徳「見得」/ 早川貴子「しゃばん玉」在学生：山口裕子「ひみつ」大学院1年生/日向かほり「輝るころ」(初入選)学部4年生/今枝加奈「夜詠え」(初入選)学部4年生/古田和子「夢現」(初入選)学部2年生/加藤菜里恵「結う」(初入選)学部2年生 WEB:http://www.nihonbijutsuin.or.jp/

## 13 高橋美美子さん、ドイツで快進撃! 個展に続き「第44回アートケルン」出品

造形作家として活動し、2010年1月にドイツのGALERIE HEXAGONに於いて個展を開催した大学院修了生の高橋美美子さんが、4月21日-25日に開催されたモダンアートの見本市「ART COLOGNE - INTERNATIONALER KUNST-MARKT」に出品しました。これは、約190ものギャラリーが参加するドイツ最大級のイベントです。



## 14 佐藤国際文化育英財団に採用の2名 今後の創作活動にさらなる自信と弾み

美術を専攻する国内外の学生への奨学援助や国際交流の促進を目的とした佐藤国際文化育英財団の奨学援助事業に、次の2名の学生が採用されました。大学院日本画専攻1年 山口裕子 大学院洋画専攻1年 原田圭 給付期間：2年間(平成22年4月~)



## 17 前田哲 / 映像学科准教授の監督作品は 世界にどんなメッセージを届けるのか

4月17日-23日にカナダで開催された、世界各国の子ども向け映画作品を1週間わたって上映する国際映画祭「スプロケッツ」で、前田哲准教授の監督映画「ブタがいた教室」が招待上映されました。これは、1998年からトロント国際映画祭の一部門として始まった上映会で、昨年は13,000人以上による観客を動員するイベントとなっています。上映：69作品(22カ国) WEB:http://tiff.net/



## 18 カタチの中から心を読み取る試みを 公開講座「縄紋人のデザインと造形」で

東北文化研究センターでは、公開講座「縄紋人のデザインと造形」を6月22日に開催。現代の考古学は遺物や遺跡から製作者や行為者の「こころ」を読み取る「認知考古学(こころの考古学)」という分野に広がっています。当日は、石井匠氏、土肥孝氏の2人の講師をお迎えし、「縄文土器のデザイン」/「土偶-縄文時代を代表する精神遺物の造形」をテーマに、縄紋人のデザインや造形を介した心の姿について語りました。

## 19 オリジナリティあふれるツアープラン 学生が企画した3商品が販売開始へ

企画構想学科では一休.comの本吉宿泊営業部長を特別講師にお招きし、2年生の演習として「旅行商品企画」に取り組みました。学生が立案した企画の中から、実際に3案が採用され、道後温泉「別邸 龍月夜」の宿泊プランとして販売が開始されました。商品名：「Silversary」~25年目のプレゼント~/「竹取物語~そうだ、月へ帰ろう~」女性へのひとけプラン/時間旅行~私の記念日~古き良き時代・明治に思いを馳せる~ WEB:http://www.kyuku.com/

## 15 成果をお披露目、snow peak x 芸工大 産学共創プロジェクト展示会 in TOKYO

プロダクトデザイン学科では2009年度、アウトドア用品のトップブランドである「株式会社スノーピーク」との産学共創プロジェクトを展開しました。その成果発表を東北芸術工科大学東京事務所で5月11日-21日に開催しました。企業から日本の「ものづくり精神」を学んだ14名の学生達は、山形県産の蜜ろうの携帯キャンドルや、星座をつなげて遊ぶカルタなど、山形ならではのアイデアを発表しました。



## 20 ACジャパン「公共広告CM学生賞」で 環境テーマの作品がアイデア賞を受賞

大学院仙台スクール生の森田大和さん、栗田朋子さん、菊地雅哉さんの3名が環境保全をテーマに制作したCM「地球の命」が、ACジャパン「公共交通CM学生賞」でアイデア賞を受賞しました。捨てられたゴミは地下にもぐり、地球を内部から痛めつけるという状況が、人間の体内で起っていたという比喩の発想力が評価されました。指導教員：遠藤洋一教授(メディア・コンテンツデザイン学科) WEB:http://www.ad-c.or.jp/act/recruit.html

## 21 感動呼ぶ、リアルな音と 映像の裏側、石寺健一氏が 上映会 / トークショーに出演

200日を超える過酷なロケ撮影で話題となった「鯨岳 点の記」。そのドキュメンタリー映画「鯨岳 撮影の記 標高3,000メートル、激闘の873日」の上映会が7月7日に山形フォーラムで開催されました。当日は録音技術として収録を行った石寺健一映像学科非常勤講師のトークショーを行います。主催：山形国際ドキュメンタリー映画祭 WEB:http://www.tsurugidake.jp/contents01.html

## 22 鋭い直感力やストーリー性が 印象的 近藤亜樹 個展 「おひさまブルー」

大学院実験芸術領域の近藤亜樹さんがart room Enoma(仙台)で6月8日-13日に初個展を開催しました。直感を活かしてストーリーを生み出し、即興で大画面に描き出す手法で制作した4×1.8mの絵画作品の他、3点を展示しました。

## 23 芳賀一彰さん、第74回 河北美術展で2度目の入賞を 果たし確かな存在感示す

大学院修了生の芳賀一彰さんの作品「アナザーワールド」(F80)が、第74回河北美術展で日本画143点、洋画933点、彫刻34点の応募の中から山形県奨賞を受賞しました。芳賀さんは今回で2度目の入賞で、動物や人をモチーフにした人形を粘土で作り、それを鏡に映して絵画を描いた作品。また、最高賞の河北賞を含め入賞31点、賞候補18点、入選335点が、藤崎本館(仙台)にて4月23日-5月5日に展示されました。



## 24 強烈なメッセージ、 タノタイガ個展「15min. Portrait 200810-201005」

大学院修了生のタノタイガ氏が、art room Enoma(仙台)で6月1日-6日に個展を開催し、「15min. ポートレート」シリーズ作品を公開しました。作品は、沖縄の赤松街にて結婚が身につけている衣服を借りて身につけ、その姿を結婚に撮影してもらったというもの。作品を通じて日本と沖縄、制度と人権、教育や競争、私たちの過去と現在、未来などを考える機会となりました。 WEB:http://www.taigart.com/event.htm

## 25 展覧会「roots / 東北画は可能か?」豊かな自然に 育まれた作品が一室に

2009年の「キヤノン写真新世紀」で佳作を受賞した大学院実験芸術領域の竹原優さんがYOKOIFINEART(東京)で6月4日-19日に個展「inevitable-必然-」を開催。異なるモチーフの写真を重ね合わせ一枚の写真を作り、表面に絵画的な手法を加えて表現した写真作品47点と、胎内をイメージした音を組み合わせセンサーレーションとして展示しました。 WEB:http://www.yokoifineart.jp/

## 26 展覧会「roots / 東北画は可能か?」豊かな自然に 育まれた作品が一室に

在学生と卒業生、教員による「roots / 東北画は可能か?」展を4月5日にアートスペース羅針盤(東京)で開催しました。蔵王山麓に位置する独特な気候風土のなかで生み出されてきた絵画、ドローイング、立体作品などが会場を埋め尽くしました。



## 27 人と猿の伝統芸能、園児と楽しんだ 東北ルネサンス THE 猿まわし

大学正面広場で6月2日に「東北ルネサンス THE 猿まわし-伝統と現代 輪の中はおとぎの国-」を開催。動物を使った芸能で最古と言われている猿まわしの実演を通じて、日本人の野生に対する思想とその変遷過程を紐解きます。当日は山形市内の園児を含む1,395名の方にお越しいただきました。公演者：園猿まわしの会(勤弁(芸猿)+新八(芸人)/福之助(芸猿)+美(芸人))、めでたや信(芸人)

## 16 広く県民・市民の交流に役立て、 設立20周年をより意義あるものに

本学徳山理事長より、元山形県知事公舎・公館の取得について、その経緯や目的について発表がありました。落札の理由は、山形市街の中心部にあり県庁の主要施設として活用されていたもので、その価値を本学が引き継ぎ、学生のほか、県民・市民の交流の場として保存し、活用していくため。今後、具体的な運用方法を検討し、この事業を「大学設立20周年記念事業の一環」として位置づけていく予定です。敷地面積：2,942㎡ 延床面積：662㎡(知事公舎、知事公館など含む) 建物構造：木造平家(知事公舎)、鉄筋コンクリート平屋(知事公館) 落札金額：2億6,250万円



## 28 日仏交流事業のプロジェクト ダンスを通して深く合った相互理解

笹川日仏財団、モンペリエ国立舞踊センター日仏交流事業のプロジェクトとして、フランスのダンサー、フィリップ・シェール氏が来日し、5月10日-22日にかけてワークショップと特別講義を開催しました。日本では本学のほか、東京都現代美術館、京都大学の3会場で滞在型のダンス・ワークショップとパフォーマンスを行いました。

## 29 脚本担当の加藤教授による トークショー&上映会で 「孤高のメス」を満喫

6月5日から公開している映画「孤高のメス」。その脚本を担当した映像学科の加藤正人教授が、6月16日にソラリス(山形市)で特別企画上映会とトークショーを開催しました。「孤高のメス」の脚本秘話や映画における脚本の役割などについて語りました。



## 30 入選の栄誉、上海出品のチャンスも 第5回日本画公募展前田青郁記念大賞

美術科日本画コース卒業生の永田恭子さん、大学院日本画領域2年の山田美知男さん、同1年の山口裕子さん、美術科日本画コース3年の若本淳司さん(写真)が、日本画の創作活動を奨励することを目的とした「第5回日本画公募展前田青郁記念大賞」に入選し、受賞展に出品しました。会期：5月23日-6月6日 時間：10:00-18:00 会場：東美濃ふれあいセンター アリーナ また、山口裕子さんは「2010年Kawaii賞」にも入選し、下記の日程で展示されます。10月17日の公開審査会でグランプリ他入賞者5名を選抜し、中国での「Kawaii展 上海」(2011年開催)に出品される予定です。会期：10月13日(水)-17日(日) 会場：西武渋谷店 A館7階 催事場

## 30

## 27

## 25

## 28

## 25

## 29

## 26

## 22

## 23

## 19

## 14

## 11

## 10



## OPEN GALLERY

## SHORT REVIEW WEB

あなたの作品、寸評室



小さな箸置きから大きな花器まで、自分だけのオリジナル作品を作ることができる陶芸講座。作品は大学内の本格的な釜で素焼きして水分を飛ばした後、一筆一筆模様を入れて釉薬をかけ、約15時間かけて焼き上げます。

東北芸術工科大学の生涯学習プログラムでは、初心者から経験者まで本格的な陶芸を楽しむことができる、陶芸講座を開催しています。白い磁器に青の模様が美しい、染付けの器づくりの講座は全12回。参加者は、ろくろの成形や一回目の釜だしが終了した作品に手を加え、それぞれの作品制作に集中していました。広い実習室ではそれぞれがろくろに向かい合い、講師が工程をチェックしながら必要に応じてアドバイスや制作の手助けを行っています。初めてこの講座に参加したという方も、6回目の講座では手慣れた様子で制作を進めています。「ビールが美

味しく飲めるビアマグを作ろうと思ったのですが、なかなか高さがだせなくて。湯のみみたいになってしまいましたね」と苦笑いする受講者は、お子さんが手を離れたことでできた時間を、もともと興味があった陶芸に使用しようと申し込みをされたそうです。「あまり来る機会がないので、大学に足を運ぶのも楽しいです」と、講座を楽しんでいる様子でした。この講座の魅力は、電動ろくろや本格的な釜など充実した設備を使用できることはもちろん、講師が多いのできめ細かく教えてもらえる点にあるといいます。「大きな皿を作りたい」という方には「大皿のふ

ちが重力で落ちてしまいやすいので、最初の土取りを広くしておくといいですよ」とアドバイス。「器の中心が合わない」という方には、鉋の選び方使い方を実践しながら指導していきます。受講者は、「ろくろの使い方が上達したい」「実用的な器を作りたい」とそれぞれの目標を持っていて、講師たちは一人ひとりのペースに合わせてその目標に到達できるように気を配っていました。次に予定されている陶芸講座は「楽焼き」。素地と火の関わりが作品に直接的に反映される陶芸で、染付けとはまた違った魅力がありそうです。

## ●今回の講師



星野友里さん（美術科工芸コース卒業）  
「陶芸は、ちょっとしたことで穴が空いたり形が崩れてしまったりするので、なるべく失敗しないように気を配りながら教えています。」という星野さん。受講者に陶芸を楽しんでもらうことを一番に考え、染付けの器の繊細な美しさを表現できるように指導しているそうです。



丹羽真弓さん（美術科工芸コース卒業）  
土を捏ねる作業に苦勞している受講者に「力をかけなくても大丈夫。あまり練っても土が荒れてしまうので、まとめる時はゆっくりと大きく回転させて。」と声をかけていた丹羽さん。菊練りと言われる技術は慣れるまで何度かやって覚えるしかなく、丁寧に指導していました。



## CLICK HERE!

WEBでさらにg\*gツウになろう

本誌g\*gでご覧いただいた内容は、WEBでもご紹介しています。さらに、WEBならではのお楽しみもいっぱい。本誌ではご紹介しきれなかった作品やエピソードなどをプラスα編集。ご期待ください。また、読者のみなさんにご参加いただくコーナーへのお申し込み・お問い合わせ窓口にもなっています。下記のWEBサイトをクリック＆チェックしてみてください。

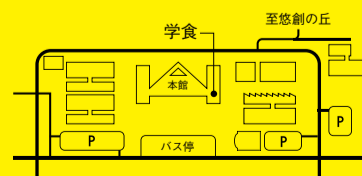
WEB: <http://gs.tuad.ac.jp/gg/>

## WELCOME TO TUAD

開かれた芸工大への扉



1. 昨年開催した会にお申込み頂いた方の様子。  
2. 料理を作るのは、以前は山形市内の大手ホテルで腕を振っていた長田さん（写真左）と直島さん（写真右）。



## 学生オリジナルプレートでの洋風コース料理

一般の方にもご利用いただき、いつも賑わっている学食ですが、夏休みの期間は学生の数が減るので少しゆったりしています。その時期を利用して、学食が企画しているのが、「学食フレンチ」。学食ならではのリーズナブルなお値段で、大学を楽しんでいただきながら美味しいフレンチを召し上がっていただく、というもの。旬の素材を活かしたコース料理は、元ホテルのシェフが腕を振ります。昨年開催した会も講評でしたが、今年は工芸コースの学生が制作した食器でメイン料理をご提供するという、芸工大だからこそ出来る趣向も取り入れる予定。学生が作る器に合わせて、料理の盛りつけを考えているということで、味覚だけでなく、視覚も十分に満足させてくれるランチタイムとなるはず。

『学生オリジナルプレートでの洋風コース料理』  
期間：9月6日(月)～17日(金) 土・日曜除く/時間：基本的に11:30～14:00の時間帯ですが、ご相談に応じます。/料金：お一人様2,500円(税込) 要予約/予約方法：ご希望の3日前までに、学生食堂 023-627-2273へ(9:00～17:00)/人数：1日10名様まで(カジュアルコースメニュー)  
アボガドの冷たいクリームスープ/カンパチのムニエル/グルノーブル風/牛フィレステーキ/デザート/パン/コーヒー

<http://gs.tuad.ac.jp/gg/>



## OPEN GALLERY

## EVENT SCHEDULE

WEB

日程や内容は変更になる場合がありますので、HPなどで事前にご確認願います。

## 7/13-8/31

今年も灯る夏の風物詩、ひじおりの灯  
肘折温泉では、東北芸術工科大学とパートナーシップを組み、芸術・文化による地域活性化事業「肘折温泉プロジェクト」に取り組んでいます。「ひじおりの灯」は、オリジナル灯ろうの展示会で、今年で4回目を迎えます。  
「ひじおりの灯2010」  
会場：肘折温泉街（山形県最上郡大蔵村肘折温泉）  
会期：7月13日（火）～8月31日（火）  
点灯時間：18:30～20:00（日中でも灯ろうはご覧いただけます）  
主催：肘折地区十東北芸術工科大学  
助成：大蔵村、アサヒビール株式会社山形支店  
WEB：http://hijiori.jp/  
〈肘折絵語り・夜語り〉  
日時：7月24日（土）17:30～21:30 肘折温泉街  
案内人：宮本武典＋灯ろう出品者  
「ひじおりの灯」を、作者の解説つきで鑑賞していく夜のトークイベントです。36個の灯ろうをゆっくりと巡ります。

## 7/15-8/1

非日常化した日常を「連続する時空間」に  
建築家みかんぐみと写真家屋代敏博氏の、プロとしての仕事を紹介する教員たちの展覧会。本学ならではの贅沢な二組のアーティストによる、非日常化した日常の姿を是非ご覧ください。  
「TUAD mixing! 2010  
みかんぐみ × 屋代敏博 連続する時空間」  
会期：7月15日（木）～8月1日（日）  
会場：東北芸術工科大学7階ギャラリー／入場無料  
時間：10:00～18:00（土曜は17:00まで）  
※日曜休館（8月1日は10:00～16:00で開館します）  
主催：東北芸術工科大学  
キュレーター：和田菜穂子准教授



## 7/16-8/2

光が彩るオブジェの魅力をご覧ください  
工芸コースの漆芸・金属・陶芸とテキスタイルコースの3年生が約半年をかけ、様々な光の効果を利用した作品を制作し、キャンパス全体を彩る展示会です。金工、漆芸、陶芸、テキスタイルといった分野にとらわれない、光るオブジェたちをお楽しみください。  
「ライティングオブジェ」  
期間：屋内 7月16日（金）～29日（木）9:00～21:00  
／屋外 7月16日（金）～8月2日（月）9:00～22:00  
会場：大学キャンパス各所

## 7/17-8/29

風情ある温泉郷美術祭2010で作品を楽しむ  
大学院彫刻領域修生の外丸治さんと元木孝美さんが、群馬県中之条で開催される「温泉郷美術祭2010」に出品します。是非ご来場ください。  
「温泉郷美術祭2010に出品」  
会期：7月17日（土）～8月29日（日）9:30～17:00  
入場無料  
WEB：http://nakanojo-biennale.com/onsenkyo/

## 7/19-24

ギャラリーオカベで「彫刻展」を開催  
大学院彫刻領域2年の学生3名が、グループ展を開催します。ダイナミックな作品たちを是非ご覧ください。  
「大学院2年「彫刻展」」  
出展：黒宮亮介、丹野智子、佐野美里  
会期：7月19日（月）～24日（土）  
会場：ギャラリーオカベ  
WEB：http://www.galleryokabe.co.jp/



## 7/21

Divaの詩と歌が自然に溶ける宵闇の時  
DiVaの作品の最も大きな特徴は、歌詞の美しさで、日本語の詩を息づかせる新しい歌の冒険である、と評されています。数ある楽曲の中から、東北を代表する文人、宮沢賢治の「星めぐりの歌」なども演奏していただきます。  
「詩は歌に恋をする ～東北の地で詩は歌になり水面をそして山々をかけめぐる～」  
日時：7月21日（水）18:00～19:30  
会場：水上能楽堂伝統館  
公演者：DiVa（ディーバ）  
谷川賢作（ピアノ）、高瀬「makoring」麻里子（ヴォーカル）、大坪寛彦（ベース）  
入場協力金：1,000円、高校生以下無料、本学学生・教職員無料  
※事前申込みが必要です。

## 7/31, 8/1

夏のオープンキャンパスで、もっと感じる芸工大  
入試相談や合格者参考作品の展示はもちろん、各学科・コースの在学生作品展示や実技体験、学生・先生との交流など沢山の企画を用意して皆さんのご来場をお待ちしています！これまでオープンキャンパスに参加された方も、更にパワーアップする夏のオープンキャンパスにぜひご来場ください！  
「オープンキャンパス」  
日時：7月31日（土）・8月1日（日）10:30～16:00  
会場：東北芸術工科大学  
交通案内：山形、仙台、酒田、鶴岡、福島、郡山、盛岡、秋田、横手、湯沢、いわき、会津若松、古川、石巻、原野、相馬、新潟の各都市から本学に、無料バスを運行します。

## 7/31, 8/1

無料で体験！大人のオープンキャンパス  
生涯学習プログラムのプレイベントとして、「大人のオープンキャンパス」公開講演を開催します。皆様のご来場をお待ちしております。  
「大人のオープンキャンパス」  
〈文芸学科トークショー〉  
「いま、日本語を学ぶことの意味」  
7月31日（土）13:30～15:30  
〈歴史遺産学科模擬授業〉  
「その時、東北の歴史が動いた―直江兼続の決断―」  
8月1日（日）13:30～15:30  
会場：東北芸術工科大学キャンパス  
参加無料／予約不要

## 8/6

芸工大オリジナル「桜風吹」で花笠参戦！  
山形の夏の風物詩、花笠まつりに芸工大チームも参加します。学生らしく若々しくダイナミックな踊り「桜風吹」をお見逃しなく。  
「花笠踊り」  
花笠まつり日程：8月5日（木）～7日（土）  
芸工大チーム参加日：8月6日（金）

## 8/17-24

世界一流のオーケストラに合わせたインスタレーション  
R・シュトラウスの「英雄の生涯」に合わせたアート作品を屋外展示します。これはアフィニス夏の音楽祭のためのインスタレーションです。  
「世界一流のオーケストラに合わせたインスタレーション」  
アートプロジェクト「英雄の生涯」  
日時：8月17日（火）～24日（火）  
会場：本町商店街、七日町商店街、文翔館前など  
出展：有志学生、卒業生など（彫刻、日本画、版画、テキスタイル、総合美術など）  
WEB：http://gs.tuad.ac.jp/hero/

## 9/17-26

独自の世界を歩いて回る「やさしいジュンカン」  
ドローイングやコラージュ手法を用いた作品や、ミュージシャンへのアートワークを中心とした展示。18日にはオープニングパーティと、目の前の「新宿 Nine Spices」にてライブイベントも開催します。  
「サイトウケイスケ個展「やさしいジュンカン」」  
日時：9月17日（金）～26日（日）（23日休館）  
12:00～20:00（最終日17:00まで）  
会場：新宿眼科画廊（スペースO）  
作家サイト：http://www.myspace.com/keisukesaito  
〈オープニングイベント〉  
日時：9月18日（土）  
会場：新宿 Nine Spices & 新宿眼科画廊（スペースO）  
出演：goomi、Courage、deNial、ahme、工藤信之、タカラダミチノブ、DJ mew 他



## 9/18-10/31

荒井良二さんと楽しむアートの世界  
日本を代表する絵本作家の荒井良二氏をお招きし、作品展のほか、横断的なアートイベントを開催します。  
「荒井良二展―山形じゃあに2010」  
会期：9月18日（土）～10月31日（日）（月曜休館）  
イベント日程：10月16日（土）～17日（日）  
会場：山形まなび館・MONO SCHOOL、アジアハウス  
出品：  
1)「metaめた」FOILでの展示の山形版（ギャラリー）  
2)「あいのて」NHK教育番組の舞台美術を移設（インフォメーションルーム）  
3)「一歳一小」山形第一小学校を活かした回遊型インスタレーション  
4)「良二さんの宿題（仮称）」荒井さんからの宿題を地元作家が制作（アジアハウス）  
5)「ライブペインティング」公開制作（アジアハウス）  
6)「荒井良二 × 竹井正和 | もちこみナイト in 山形」作品講評を交えたトークライブ ほか



## 9/25, 26

さあ芸工大祭の季節です！芸工祭2010  
学生が様々なイベントや作品を準備して、学生自身も楽しみながら広く皆様をお迎えする東北芸術工科大学 大学祭「芸工祭2010」を、今年も2日間開催します。  
模擬店や作品展、サークルパフォーマンスなどイベントも盛り沢山です。是非ご来場いただき、芸工大生のカラーを存分にお楽しみください。  
「東北芸術工科大学大学祭「芸工祭2010」」  
日時：9月25日（土）・26日（日）10:00～20:00  
会場：東北芸術工科大学キャンパス

## 9/27, 10/3

芸工大の保護者会は東京・山形の2カ所で  
教員との懇談会やゲスト講師による講演など、在学生の保護者の方を対象にした保護者会を、仙台と東京の2会場で開催します。  
「保護者会 in 仙台、東京」  
〈仙台会場〉  
日時：9月27日（月）13:00～  
会場：仙台 AER ビル  
〈東京会場〉  
日時：10月3日（日）13:00～  
会場：東北芸術工科大学外苑キャンパス

## 9/30

人と環境にやさしいアイデア募集  
コンペのテーマは「サスティナブルライフスタイル」。この意味は、人と環境にやさしい生活を送ること。そんな生活を過ごすにはどうすればいいのでしょうか。地球にやさしいエコなもの、みんなが安心して使えるもの、社会のしくみや生活に密着したスタイル提案など幅広いアイデアを9月30日まで募集します。  
「サスティナブルデザインアイデアコンペ2010」  
一次審査提案パネル提出締切：9月30日（木）必着  
最優秀賞 1点 賞金20万円、賞状  
優秀賞 2点 賞金10万円、賞状  
入選 5点 賞金2万円、賞状  
詳しくは、大学HPをご覧ください。

## 10/31

汗と涙のデザセン、ついに決勝大会  
デザセンは高校生を対象とした、社会の様々な問題を解決するためのアイデアを競う大会です。決勝大会では、一次審査で選ばれた10チームが映像や模型を使って提案を発表します。高校生たちのまっすぐな思いに、誰もが感動させられるはずです。是非ご来場ください！  
「デザセンの決勝大会を開催します！」  
会場：本館201講義室／入場無料  
日時：10月31日（日）12:30～17:00



在学生、卒業生の皆さんへ  
東北芸術工科大学の広報誌「g\*g」では、イベントなどの告知情報をお待ちしております。